

第 32 回建設業経理士試験 模範解答

2 級

〔第 1 問〕

No.	借 方			貸 方		
	記号	勘 定 科 目	金 額	記号	勘 定 科 目	金 額
(1)	L	資 本 金	12,000,000	M	そ の 他 資 本 剰 余 金	12,000,000
(2)	K	未 払 法 人 税 等	2,300,000	A	現 金	2,300,000
(3)	G	機 械 装 置	1,600,000	G	機 械 装 置	1,500,000
				B	当 座 預 金	100,000
(4)	A	現 金	520,000	U	償 却 債 権 取 立 益	520,000
(5)	D	完 成 工 事 未 収 入 金	10,640,000	Q	完 成 工 事 高	10,640,000

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

〔第 2 問〕

(1) ¥

10,036,000

(2) ¥

26,000

(3) ¥

312,500

(4) ¥

1,200,000

各 3 点 合計 12 点
(配点は、当学院の予想です)

〔第 3 問〕

問 1

¥

2,300

問 2

¥

552,000

問 3

¥

13,000

記号 (A または B)

A

(1) 及び (2) 各 5 点
(3) 金額と記号両方正解で 4 点
合計 14 点
(配点は、当学院の予想です)

〔第 5 問〕

精 算 表 (単位：円)								
勘 定 科 目	残 高 試 算 表		整 理 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	23,500			700			22,800	
当 座 預 金	152,900						152,900	
受 取 手 形	255,000						255,000	
完成工事未収入金	457,000			12,000			445,000	
貸 倒 引 当 金		8,000		400				8,400
未 成 工 事 支 出 金	151,900		3,000 166 13,500 9,300	1,200 64,366			112,300	
材 料 貯 蔵 品	3,300		1,200				4,500	
仮 払 金	32,600			900 31,700				
機 械 装 置	250,000						250,000	
機械装置減価償却累計額		150,000		3,000				153,000
備 品	60,000						60,000	
備品減価償却累計額		20,000		20,000				40,000
建 設 仮 勘 定	48,000			48,000				
支 払 手 形		32,500						32,500
工 事 未 払 金		95,000						95,000
借 入 金		196,000						196,000
未 払 金		48,100						48,100
未 成 工 事 受 入 金		233,000						233,000
仮 受 金		12,000	12,000					
完成工事補償引当金		19,000		166				19,166
退 職 給 付 引 当 金		187,000		12,500				199,500
資 本 金		100,000						100,000
繰越利益剰余金		117,320						117,320
完 成 工 事 高		9,583,000				9,583,000		
完 成 工 事 原 価	7,566,000		64,366		7,630,366			
販売費及び一般管理費	1,782,000				1,782,000			
受 取 利 息 配 当 金		17,280				17,280		
支 払 利 息	36,000		600		36,600			
	10,818,200	10,818,200						
雑 損 失			700		700			
前 払 費 用			300				300	
備 品 減 価 償 却 費			20,000		20,000			
建 物			48,000				48,000	
建 物 減 価 償 却 費			2,000		2,000			
建物減価償却累計額				2,000				2,000
貸倒引当金繰入額			400		400			
賞与引当金繰入額			5,000		5,000			
賞 与 引 当 金				18,500				18,500
退職給付引当金繰入額			3,200		3,200			
未 払 法 人 税 等				4,304				4,304
法人税、住民税及び事業税			36,004		36,004			
			219,736	219,736	9,516,270	9,600,280	1,350,800	1,266,790
当 期 (純 利 益)					84,010			84,010
					9,600,280	9,600,280	1,350,800	1,350,800

1 つにつき 2 点 合計 30 点
(配点は、当学院の予想です)



《2 級解説》

〔第 1 問〕

- (1) 資本金を減資した場合は、指定勘定科目に従ってその他資本剰余金勘定に振り替えます。
- (2) 確定申告に際して法人税等を納付した場合は、決算時に計上した未払法人税等の支払いとして処理します。

決算時

(法人税、住民税及び事業税) 3,800,000 (仮払法人税等) 1,500,000
(未払人税等) 2,300,000

- (3) 同種の固定資産と固定資産を交換した場合は、交換に供した固定資産の適正な帳簿価額をもって取得原価とします。なお、交換に際して、交換差金を支払った場合には、取得原価に加算します。
- (4) 過年度に貸倒損失として処理していた債権を回収した場合には、その回収額を償却債権取立益勘定に計上します。
- (5) 完成工事高： $\text{¥}28,000,000 \times \frac{\text{¥}1,666,000 + \text{¥}9,548,000}{\text{¥}24,920,000} - \text{¥}1,960,000 \text{※} = \text{¥}10,640,000$

※前期完成工事高： $\text{¥}28,000,000 \times \frac{\text{¥}1,666,000}{\text{¥}23,800,000} = \text{¥}1,960,000$

〔第 2 問〕

- (1) 労務費消費額＝当月支払額－前月末払額＋当月未払額
 $\text{¥}32,210,000 = \text{¥}31,530,000 - \text{¥}9,356,000 + \text{ ? }$

労 務 費	
当月支払 ¥31,530,000	前月末払 ¥9,356,000
当月未払（貸借差額） ¥10,036,000	当月消費 ¥32,210,000

- (2) 銀行勘定調整表

銀 行 勘 定 調 整 表				(単位：円)
当座預金出納帳残高	?	銀行残高証明書残高	1,280,000	
加 算：(②)	15,000	加 算：(①)	5,000	
減 算：(③)	2,000	減 算：(②)	18,000	
修正後残高	1,267,000	修正後残高	1,267,000	

当座預金出納帳残高： $\text{¥}1,280,000 + \text{¥}5,000 - \text{¥}18,000 + \text{¥}2,000 - \text{¥}15,000 = \text{¥}1,254,000$
残高証明書残高と当社残高との差異： $\text{¥}1,280,000 - \text{¥}1,254,000 = \text{¥}26,000$

- (3) 固定資産の売却

(機械装置減価償却累計額)	7,812,500 *1	(機 械 装 置)	12,500,000
(現 金 な ど)	5,000,000	(固 定 資 産 売 却 益)	312,500 *2

*1 減価償却累計額（20X1 年期首から 20X5 年期末）： $\text{¥}12,500,000 \div 8 \text{ 年} \times 5 \text{ 年} = \text{¥}7,812,500$
*2 固定資産売却損益： $\text{¥}5,000,000 - (\text{¥}12,500,000 - \text{¥}7,812,500) = \text{¥}312,500$

- (4) 保険差益

・ 消失時の仕訳

(建物減価償却累計額)	2,500,000	(建 物)	3,500,000
(未 決 算)	1,500,000		

・ 保険金確定時の仕訳

(現 金)	1,700,000 *	(未 決 算)	1,500,000
		(保 險 差 益)	200,000

*現金受取額： $\text{¥}1,500,000 + \text{¥}200,000 = \text{¥}1,500,000$

〔第 3 問〕

問 1

予定配賦額：¥78,660,000÷34,200 時間＝¥2,300/時間

問 2

予定配賦額(No.201 工事)：¥2,300/時間×240 時間＝¥552,000

問 3

予定配賦：¥2,300/時間×(350 時間＋240 時間＋2,100 時間)＝¥6,187,000

配賦差異：¥6,187,000－¥6,200,000＝△¥13,000 (借方差異「A」)

〔第 4 問〕

問 1 原価の本質

模範解答参照

問 2

1. 材料費の払出原価

材 料 元 帳											
先入先出法			(数量：kg 単価及び金額：円)								
日付	摘要	受 入 高			払 出 高			残 高			
		数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	
9	1 前 月 繰 越	800	220	176,000				800	220	176,000	
	2 払 出 (No.801)				400	220	88,000	400	220	88,000	
	5 仕 入	1,600	250	400,000				1,600	250	400,000	
	9 払 出 (No.901)				400	220	88,000				
					800	250	200,000	800	250	200,000	
	15 払 出 (No.701)				600	250	150,000	200	250	50,000	
	22 仕 入	1,200	180	216,000				1,200	180	216,000	
	26 払 出 (No.901)				200	250	50,000				
					200	180	36,000	1,000	180	180,000	
	27 払 出 (No.902)				500	180	90,000	500	180	90,000	

2. 工事間接費の配賦

(1) 甲部門

No.701：¥150,000×3%＝¥4,500

No.801：¥88,000×3%＝¥2,640

No.901：(¥88,000＋¥200,000＋¥50,000＋¥36,000)×3%＝¥11,220

No.902：¥90,000×3%＝¥2,700

合 計 ¥21,060

(2) 乙部門

No.701：15 時間×¥2,200＝¥33,000

No.801：32 時間×¥2,200＝¥70,400

No.901：124 時間×¥2,200＝¥272,800

No.902：29 時間×¥2,200＝¥63,800

合 計 ¥440,000

3. 工事間接費配賦差異の月末残高

(1) 当月配賦差異

甲部門：¥21,060(上記 2. (1))－¥20,000＝¥1,060(貸方差異)

乙部門：¥440,000(上記 2. (2))－¥441,000＝△¥1,000(借方差異)

(2) 工事間接費配賦差異月末残高

甲部門：¥5,600(借方残高)－¥1,060(貸方差異)＝¥4,540(借方残高)

乙部門：¥2,300(貸方残高)－¥1,000(借方残高)＝¥1,300(貸方残高)

合計 ¥3,240(借方残高)

4. 工事原価計算表

工 事 原 価 計 算 表						
摘 要	No. 701		No. 801		No. 901	(単位：円)
	前月分	当月分	前月分	当月分	当月分	合 計
材 料 費	218,000	150,000	171,000	88,000	374,000	1,001,000
労 務 費	482,000	450,000	591,000	513,000	819,000	2,855,000
外 注 費	790,000	1,120,000	621,000	2,321,000	1,523,000	6,375,000
経 費	192,000	327,500	132,000	458,040	586,020	1,695,560
(直 接 経 費)	—	(290,000)	—	(385,000)	(302,000)	
(工事間接費甲)	—	(4,500)	—	(2,640)	(11,220)	
(工事間接費乙)	—	(33,000)	—	(70,400)	(272,800)	
合 計	1,682,000	2,047,500	1,515,000	3,380,040	3,302,020	11,926,560

〔第 5 問〕

(1) 現金過不足について

(雑 損 失)	700	(現 金)	700 *
-----------	-----	---------	-------

* 現金過不足：¥22,800(実際)－¥23,500(帳簿)＝△¥700 (不足)

(2) 仮設材料 (すくい出し方式) について

(材 料 貯 蔵 品)	1,200	(未 成 工 事 支 出 金)	1,200
---------------	-------	-------------------	-------

(3) 仮払金について

① (支 払 利 息)	600 * ¹	(仮 払 金)	900
(前 払 費 用)	300 * ²		

*1 支払利息：¥900× $\frac{2\text{か月}}{3\text{か月}}$ ＝¥600

*2 前払費用：¥900× $\frac{1\text{か月}}{3\text{か月}}$ ＝¥300

(注) ②については下記(11)参照

(4) 減価償却

① 機械装置(工事現場用)

(未 成 工 事 支 出 金)	3,000 *	(機 械 装 置 減 価 償 却 累 計 額)	3,000
-------------------	---------	---------------------------	-------

工事現場用の機械装置については、毎月の予定計上額合計¥42,000 と実際発生額¥45,000 との差額を当期の工事原価(未成工事支出金)に加減します。

* 予定計上額：¥3,500×12 か月＝¥42,000

実際発生額：¥45,000

∴ ¥42,000－¥45,000＝¥③,000(計上不足)

② 備品(本社用)

(備 品 減 価 償 却 費)	20,000 *	(備 品 減 価 償 却 累 計 額)	20,000
-------------------	----------	-----------------------	--------

* ¥60,000÷3 年＝¥20,000

③ 建設仮勘定(本社用)

(建 物)	48,000	(建 設 仮 勘 定)	48,000
(建 物 減 価 償 却 費)	2,000 *	(建 物 減 価 償 却 累 計 額)	2,000

* ¥48,000÷24 年＝¥2,000

(5) 仮受金について

(仮 受 金)	12,000	(完 成 工 事 未 収 入 金)	12,000
-----------	--------	---------------------	--------

(6) 貸倒引当金について

(貸 倒 引 当 金 繰 入 額)	400 *	(貸 倒 引 当 金)	400
* ($\frac{\text{¥255,000}}{\text{受取手形}} + \frac{\text{¥457,000} - \text{¥12,000}}{\text{完成工事未収入金}} \times 1.2\% - \frac{\text{¥8,000}}{\text{貸倒引当金}} = \text{¥400}$)			

(7) 完成工事補償引当金について

(未 成 工 事 支 出 金)	166 *	(完 成 工 事 補 償 引 当 金)	166
* $\text{¥9,583,000} \times 0.2\% - \text{¥19,000} = \text{¥166}$			

(8) 賞与引当金について

(賞 与 引 当 金 繰 入 額)	5,000	(賞 与 引 当 金)	18,500
(未 成 工 事 支 出 金)	13,500		

(9) 退職給付引当金について

(退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額)	3,200	(退 職 給 付 引 当 金)	12,500
(未 成 工 事 支 出 金)	9,300		

(10) 未成工事支出金について

(完 成 工 事 原 価)	64,336	(未 成 工 事 支 出 金)	64,336
-----------------	--------	-------------------	--------

未成工事支出金			
T/B	151,900	(4)	1,200
(4)①	3,000	(差額)	差額¥64,336 を完成工事原価として 完成工事原価勘定に振り替えます。
(7)	166		
(8)	13,500		
(9)	9,300		
		次月繰越	112,300

(11) 法人税等について

(法人税、住民税及び事業税)	36,004 * ¹	(仮 払 金)	31,700
		(未 払 法 人 税 等)	4,304 * ²

*1 (総収益¥9,600,280－総費用¥9,480,266)×30%＝¥36,004.2 → ¥36,004(円未満切り捨て)

*2 ¥36,004－¥31,700＝¥4,304

損 益 計 算			
完 成 工 事 原 価	7,630,366	完 成 工 事 高	9,583,000
販売費及び一般管理費	1,782,000	受取利息配当金	17,280
支 払 利 息	36,600		
雑 損 失	700		
備品減価償却費	20,000		
建物減価償却費	2,000		
貸倒引当金繰入額	400		
賞与引当金繰入額	5,000		
退職給付引当金繰入額	3,200		
税引前当期純利益	120,014		